

岐阜歯科学会雑誌投稿規定

投稿：

- 1) 岐阜歯科学会雑誌は岐阜歯科学会の機関紙であり、年3回発行し、歯科医学関連領域に関する総説、原著、症例報告、学位論文、抄録、短報、資料、会報その他を掲載する。
- 2) 投稿は原則として共著者を含めて本学会会員に限る。

論文の受理：

- 1) 原稿は投稿規定に従い、内容、体裁が整い、直ちに印刷できるものでなければならない。
- 2) 原稿はオリジナル1部およびそのコピー2部(ただし写真は明瞭なもの)を提出する。
- 3) 投稿原稿の採否、掲載順序などは、編集委員会において決定する。

著作権：

本誌に掲載される著作物の著作権は、岐阜歯科学会に帰属することを前提とする。共同著者の場合も著者全員の同意があり、また完全な譲渡の自由を有する著作物であるものとする。

原稿：

- 1) 原稿はコンピューターソフト(ワードプロセッサも可)で作成し、論文題目、著者名、使用機種および使用ソフト名(version)を記載した3.5フロッピーディスクとその出力した原稿とともに提出する。
- 2) 和文原稿はひらがな、新かなづかいとし、漢字は原則として常用漢字を用いて、A4版24字×25行で横書きしたものとする。英文原稿はダブルスペースでA4版の用紙に印字し、和文・英文ともに四方に25mmの余白を設ける。なお、学位論文は和文原稿のみとする。
- 3) 本文中の固有名詞、外国語、化学物質名、薬品名などは原語とし(動植物の学名はイタリックとする)、和文はカタカナで表記する。
- 4) 度量衡の単位はSI系を原則とする。

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|----|-----|----------------|-----|------------------|------------------|-----|------|-------|----|----|
| 【例】 | 重量 | kg | g | mg | μg | ng | pg | mol | μmol | nmol | Eq | wt |
| | 長さ | m | cm | mm | μm | nm | | | | | | |
| | 容積 | l | ml | μl | | | | | | | | |
| | 濃度 | M | mM | μM | nM | M% | ppm | ppb | mg% | mg/dl | | |
| | 時間 | h | min | sec | | | | | | | | |
| | 温度 | ℃ | | | | | | | | | | |
| | 放射能 | Ci | mCi | μCi | cpm | dpm | | | | | | |
| | その他 | km | pK | R _f | pH | V _{max} | B _{max} | | | | | |

原稿の体裁：

- 1) 原稿は、表紙(表題、著者名、所属機関名[所属の異なる著者名には右肩にアラビア数字で片かっこを付けて区別する]、略題[和文は25字、英文50字以内]、図・表の紙数、別刷希望数[50部単位とする]、連絡先[氏名、所属、宛先、電話番号、FAX番号、メールアドレス]、抄録、キーワード5語以内、本文、文献、末尾抄録、表および表の説明、脚注(学会発表などの記事のみを記載する)、図の説明、図(写真は図として表す)の順に一括して左上隅をひもで綴る。なお、学位論文は単著とし、抄録、略題、キーワードおよび末尾抄録は必要としない。
- 2) 抄録は本文が和文の場合は400字以内、英文の場合は250語以内とする。抄録の末尾に5語以内のキーワード(英文の場合はKey words)を付ける。
- 3) 原著、症例報告、学位論文の本文は、緒言、材料および方法、結果、考察、結論、(必要があれば謝辞)の順に記載する。総説、短報および資料その他の原稿に関しては編集委員会に問い合わせる。
- 4) 文献は引用順にならべ、一連番号を付け、本文中の当該箇所の右肩に数字で片かっこを付けて示す(例；鈴木ら^{3,4)}、……といわれている⁵⁻⁹⁾)。文献の記載法を下記に示す。

雑誌の場合 著者名(全員を記載する)：論文表題、雑誌名(登録された略号を用いてよい)、巻、最初～最後頁、発行年(西暦)。

例1) Nixon, G. S. and Smith, H. : Estimation of arsenic in teeth by activation analysis. *J. Dent. Res.*, **39** : 514~516, 1960.

例2) 亀田治男, 千原呉郎, 山本幸子 : 赤外線吸収スペクトルによる胆石の分析とその臨床的応用. *最新医学*, **13** : 445~468, 1958.

単行本の場合 著者名：書名(論題)(編者名)、版、発行所(発行地)、巻、最初～最後頁、発行年(西暦)。

例3) Sognaes, R. F. : Chemistry and prevention of dental caries (C. C. Thomas), 2nd ed., ABC Co.,

(Springfield), 20~30, 1962.

例 4) 山村雄一：新医化学, 10版, 南山堂(東京), 40~45, 1971.

例 5) 草間敏夫：生理学大系(運動の中樞神経生理学)(藤森聞一編), 1版, 医学書院(東京), 7, 481~651, 1976.

- 5) 末尾抄録は本文が和文論文の場合は英文で400語以内とし, 英文論文の場合は和文で800字以内とする。なお, 末尾抄録の本文の前に表題, 著者名, 所属機関名, 住所, キーワード(5語以内)を末尾抄録と同じ言語で付け, 全体として原稿紙数2頁をこえない。
- 6) 図・表・写真にはそれぞれアラビア数字で一連番号を記す。図・表・写真の最大印刷寸法は左右16.2×上下24.8cm(図・表の説明も含む)で, 左右1/2サイズは7.7cmである。図・表・写真を台紙に貼り付ける場合, 台紙の大きさはA4版とし, 図・表・写真には上下の別を明記し, 拡大・縮小率(左右○cm), 著者名およびカラー・モノクロの別を台紙表の右上隅に記載する。図・表・写真の挿入位置を本文中の右欄外に朱筆する。図・表・写真の説明は和文あるいは英文とする。

校 正：

校正は原則として2校まで著者校正とする。校正にあたって文章あるいは内容の訂正や変更はしてはならない。

投稿料および別刷代：

別に定める。

本規定は本誌第28巻第2号より適用する。

原稿送付および問い合わせ先：

〒501-0296 岐阜県本巣郡穂積町穂積1851-1

朝日大学歯学部内 岐阜歯科学会雑誌編集委員会

電話・FAX 058-327-7632